

教育
指導課

心を一つにして奏でる

第4回庄原市中学校合唱コンクール

11月13日、庄原市内全7中学校が一堂に会する合唱コンクールを庄原市民会館で開催しました。各学校が、課題曲「この星のどこかで」（作詞：和泉薫・作曲：赤尾暁）と自由曲の2曲を披露しました。ハーモニーや歌詞に込められた意味の表現に、各学校の特色や工夫がありました。

生徒は、「大きな舞台で緊張したが、気持ちよく歌うことができ」「仲間との絆が深まった」「一生懸命練習を積み重ねてきて、今まで以上に学年の結束力が上がった」など、自分たちの当日までの取り組みを振り返るとともに、お互いの合唱を称え合いました。来場者からは、「皆で同じ方向に向かって頑張る姿に感動した」「庄原市の発展に通じるものを感じた。これからも続けてほしい」など、生徒の一生懸命な姿に感動した声が多く寄せられました。

合唱後には、地元コーラスグループ庄原混声合唱団「ひびき」の美しい歌声がコンクールに花を添え、閉会式で、生徒と来場者全員で課題曲を合唱し、コンクールの幕を閉じました。参加した3年生の成人式では、再び心を一つにして課題曲を合唱する予定です。



最優秀賞 東城中学校



特別賞 庄原中学校

市民
生活課

いじめなんかじゃ、くたばるもんか!

庄原市人権講演会

12月4日、庄原市民会館で庄原市人権講演会を開催しました。

俳優の原田大二郎さんが「いじめなんかじゃ、くたばるもんか!」と題して講演。いじめを受けた息子や、教師、保護者との関わりなど、実体験をもとに話し、相手の立場に立った思いやりの心の大切さを来場者に語りかけました。

来場者アンケートでは、「原田さんの実体験の話で、真実味がある。年が経過したから話せることだと思う」「いじめから子供を守っていかうとする気持ちが強く伝わってきた。『相手の立場になること』を大切に生きていきたい」など多くの感想が寄せられました。



講演する原田大二郎さん

生涯
学習課

読書を軸に家庭教育を支援

庄原市家庭教育支援チームを設置



庄原市ならではの家庭教育支援チームの設置を宣言

市教育委員会は、読書を軸とした「家庭教育支援チーム」をこのたび設置しました。

この支援チームは、子育てに不安を抱える保護者の増加が社会的課題となっており、ことから文部科学省が進めるもので、庄原市では、読書活動を軸に、学校司書や読書ボランティア、子育て支援センターが連携して地域全体で子供を育てる環境をつくります。

11月27日には、庄原市田園文化センターで、20人の参加のもと、前回開催した意見交換会で発表があった「子育て中の家庭が参加できるイベントの開催」のアイデアを、参加者全体で深め、検討しました。

今後もチームメンバーを拡大しながら、読書の魅力や素晴らしさ、良さを知ってもらうとともに、子育て家庭に寄り添える活動について考え、実施していきます。